テーブルスケール
TL-280/TL-290
【シリアル出力説明書】

第３版
2023/03/06

株式会社タニタ

© TANITA Corporation

1. 目次

1. 目次 1
2. 概要 2
3. 通信仕様 2
4. 接続方法 2
5. 出力データフォーマット 3

© TANITA Corporation

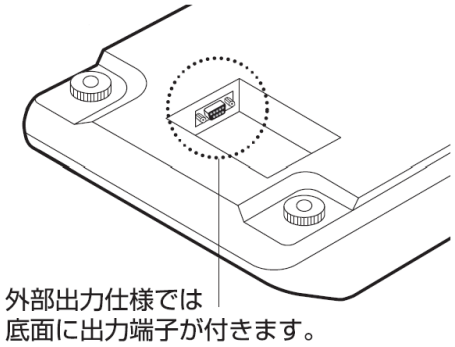
2. 概要

この説明書は、テーブルスケール「TL-280/TL-290」の測定結果を、RS-232C に準拠した信号としてパソコンなどの外部機器に出力する信号に関して説明するものです。測定終了直後に、TL-280/TL-290 のシリアルポートから、測定結果が出力されます。

3. 通信仕様

通信規格	: EIA RS-232C準拠
通信方式	: 調歩同期式
信号速度	: 9600ボー
データビット長	: 8ビット
パリティ	: なし（NONE）
ストップビット	: 1ビット
フロー制御	: なし
ターミネータ	: CR+LF

4. 接続方法



【USB の場合】

USB コネクター（miniB）が付いています。USB ケーブルで接続してください。

※TL-280/TL-290 は USB シリアル変換のため、TANITA の WEB サイトからドライバーをダウンロードし、パソコンへインストールする必要があります。

【RS-232C の場合】

RS-232C コネクター（D サブ 9 ピンメス）が付いています。パソコンと接続する場合は、RS-232C ストレートケーブル（延長用）を使用してください。

© TANITA Corporation

5. 出力データフォーマット

送信データは、受信側（パソコンなど）の状態にかかわらず計量直後に出力されます。このため、計量以前に受信側が、常に受信可能な状態になっている必要があります。

項　目　名	ヘッダー	出力データ（ASCIIコード）	
制御データ	{0	16に固定	2バイト固定
制御データ	˜0	1に固定	1バイト固定
品　　番	M0	"TL-280"または"TL-290"	8バイト固定
質　　量	Wg	xxxxxx	1～6バイト
風　袋　量	Pt	xxxxxx	1～6バイト
※個　　数	Pi	xxxxx	1～5バイト

※カウンティングモードのときのみ有効

■RS-232C出力データフォーマット例（TL-280 質量79g 風袋0gの場合）

{0, 16, ˜0 , 1, M0, "TL-280", Wg, 79, Pt, 0

上記にターミネータ（CR+LF）の付いたデータが1電文として出力されます。

お知らせ

- 重量及び風袋量の単位は「g」となります。
- 各データはカンマ（,）で区切られています。
- ターミネータ（データの最後）は、CR（ASCIIコード　0DH）、LF（ASCIIコード　0AH）です。
- 風袋量が設定されていない場合は、0が出力されます。
- 拡張表示（実目量での表示）中は出力されません。
- データ出力は、以下に示す表の内容で、本器が安定したときにおこなわれます。

品番	TL-280			TL-290		
ひょう量	4kg	8kg	15kg	4kg	8kg	15kg
最小出力値	4g	10g	20g	4g	10g	20g

© TANITA Corporation